

兵庫県医師会ドクターバンクだより

医療過疎地医療機関での医師確保対策について

11月27日に県の意向を受けて実施した医療過疎地医療機関視察バスツアーで訪問した2つの病院の内、地域の救急体制維持のために内科医不足が深刻になっている公立神崎総合病院で「医師の定着」が話題となりました。その際、西野直樹神崎郡医師会長から印象深いご意見をいくつか拝聴することが出来ましたのでその一つをご紹介します。勤務医師確保のアイデアの一つとして「神崎郡で開業医のご子息が親元診療所を継承する場合、先ずは地元の公立神崎総合病院に何年か勤務することを慣例化する」というものです。その場合、医業継承する子息にとっては地元の医療実態を把握でき、地元住民や医療関係者との良好な人間関係も築くことが出来るというメリットだけでなく、地域の中核的病院の医師不足問題解決にも大きく寄与できるという一石二鳥の効果があることです。「医業継承時に地元医療機関での勤務の慣例化」は何も神崎郡だけでなく、他の医療過疎地域でも大いに参考になる提言でした。しかし、現実には医業継承が親の健康上の理由等により即、開業となる場合が多いことです。問題は、何年かの間、診療所を閉じると多くの医師会では再開時に新規開業扱いとして入会金を再度支払わなければならないことです。このようなハードルを排除するために、医療過疎地域に限り、地元中核的医療機関を守る観点から柔軟な対応をすることが得策であろうと考えられました。

ドクターバンク・コーディネーター：Y.I.

兵庫県医師会ドクターバンク実績（累計）

求人施設数	求人数	求職者数	マッチング件数	成立件数
373	843	136	592	59

(注) 平成23年11月30日現在のデータを掲載。

<連絡先> TEL：078-231-4114（代表）
担当者：後藤・都出
FAX：078-265-2822（専用）
e-mail：info@hyogo-doctorbank.com（専用）